

かるがも便り 第10号

(夏期号)



梅雨期間が短かったこともあり、猛暑日が長く感じます。園や学校のエアコン設備のないお部屋で過ごす子どもたちには、プール遊びを多く取り入れたり、大型扇風機を教室に置いたりなど、工夫して暑さ対策をしているかと思います。

水分をこまめに摂ることを忘れずに、汗をかいたら、しっかりと拭いたり、着替えをするなどして、清潔を保ち、暑さ乗り切りましょう。

かるがもの利用状況	
登録者数	109名
利用者数	44名
平成30年7月5日現在	

※利用者数は、年度累計数



◇・・・夏期号は《夏に流行る病気について》です・・・◇

手足口病

手や足、口の中などに水をともなう小さな赤い発疹が見られ、痛みやかゆみをとまなうことがあります。

熱は37度から38度程度で、発熱しない場合もあります。口の中の発疹が痛むので食欲が落ち、まれに下痢や嘔吐など胃腸系の症状が出ることもあります。原因はウイルスによる感染です。

- 潜伏期間は？ ◆◆◆ 3～5日
- 感染経路は？ ◇◇◇ 飛沫、接触、糞口
- 登校・園の目安は？ ◆◆◆ 解熱後1日以上、食事が取れたらOK（唾液1週間便は数週間気を付ける）

ヘルパンギーナ

上あごの粘膜や喉の奥に水泡ができ、39度から40度の発熱をとまないます。扁桃腺の周囲が赤くなることもあります。原因は、ウイルスによる感染です。のどが痛むのでつばの飲み込みが困難になり、よだれが多くなったり嘔吐しやすくなったりすることがあります。喉に痛みがあるので、食べたり飲んだりするのを嫌がる場合があります。

- 潜伏期間は？ ◇◇◇ 2～4日
- 感染経路は？ ◆◆◆ 飛沫 接触、糞口
- 登校・園の目安は？ ◆◆◆ 解熱後1日以上、食事が取れたらOK（唾液は1週間便は数週間気を付ける）

☆☆☆薄着になったり、プール遊びで肌を出すこの時期、皮膚トラブルが目立ってきます。☆☆☆

虫刺されのかきむしりやケガによる傷など、とびひにならによう、早めのケアを心がけましょう。

ひどくなった場合は、小児科を受診して内服薬と塗り薬で治しましょう。患部をしっかりと覆えば人にはうつりません。

とびひに並び、水いぼも気になる時期です。1、2個であれば、自力で治すことを期待して様子を見ましょう。

予防には、内服薬(ヨクイニン)や、肌の保湿(ワセリン等)があります。しっかりとケアして皮膚にバリアを保ちます。

ひっかくなどして数が増えたら、治療除去しましょう。当院小児科では局所麻酔のシールで痛みを緩和し、ピンセットでつまんで取り除きます。お風呂やプールの水からうつることはありません。タオル、マット、ビート板の共有はさけましょう。

